



玉川学区の健幸かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター

地区担当保健師



1.人口構成と世帯数(R7.4.30) ※市と比較して区分割合が高い項目に着色

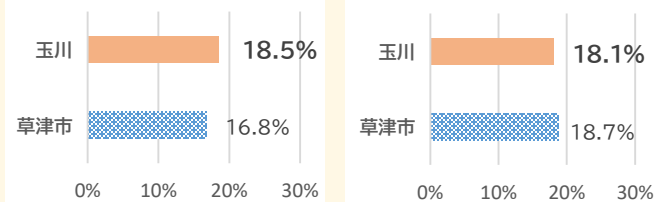
年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

4.高齢者の状況

（※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む）

①単身高齢者の割合(R7.4)

②介護認定率(R7.4)



③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1～R2新規申請者)

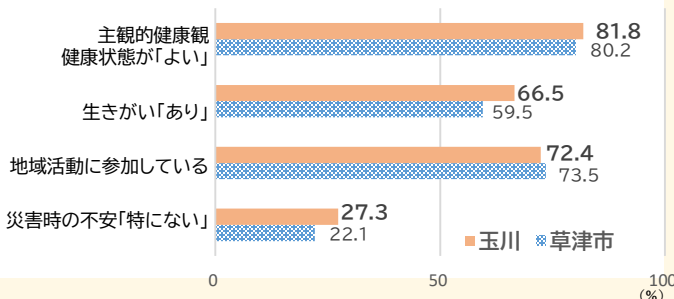
【要支援認定となった人】
骨折

【要介護認定となった人】
アルツハイマー型認知症



④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果(R4年度)

※対象65歳以上(要介護1～5の認定を受けていない方)

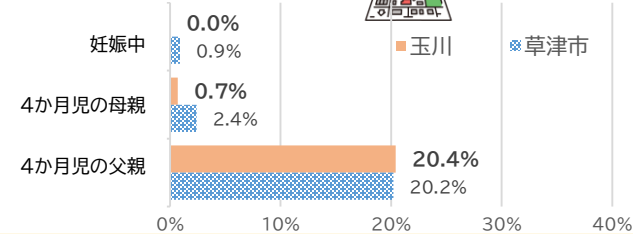


2.妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合(R6年度)

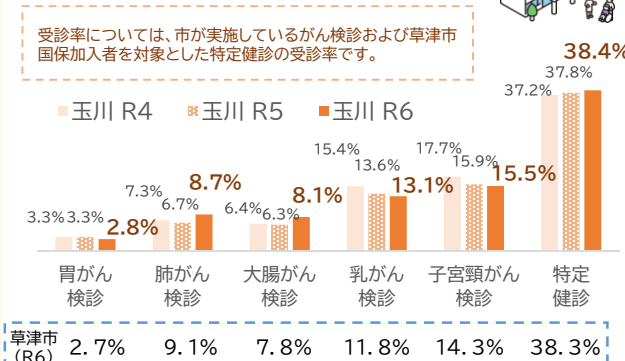
フェイススケール		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	玉川	48.0%	32.0%	17.3%	2.7%	0.0%	0.0%
	草津市	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
4か月児	玉川	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

②喫煙状況(R5～6年度:4か月児健診時)

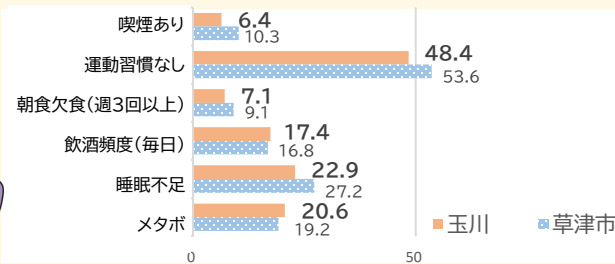


3.からだの健康・生活習慣

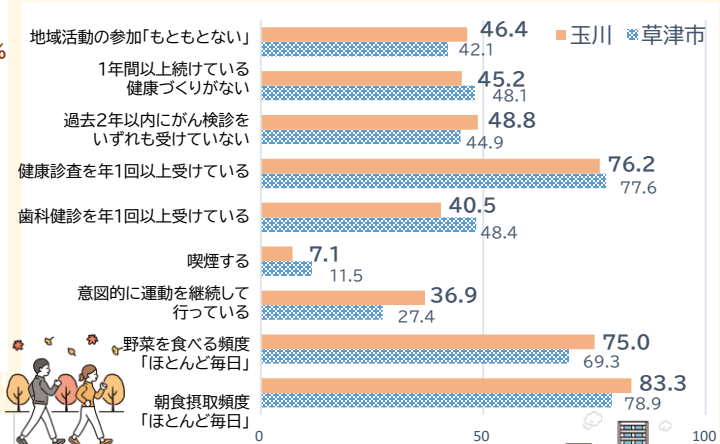
①市が実施しているけん診の受診率推移(R4～6年度)



②特定健診問診・検査結果(R6年度)



③健康に関するアンケート調査結果(R4年度) ※対象18～74歳



5.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

子育てサークル・拠点施設	10か所	スーパー	2か所
地域サロン	9か所	コンビニ	6か所
医療機関	医師:14か所 歯科:6か所	ドラッグストア	2か所
薬局	8か所	町内会	4

地域の目指す姿(目標):玉川学区の住民が、自らの健康に関心をもち、自分に合った健康づくりに取り組むことができる

地域の特性と健康課題

・学区内に大学があり、学生も多く住んでおり、生産年齢人口(15～64歳)の割合は市内で最も高いです。
 ・学区の高齢化率は18.9%と市と比較すると低いですが、駅から離れた住宅地では高齢化が進み、高齢化率が45%を超えているエリアがあります。高齢者が健康を維持し、安心して地域で住み続けられるように、介護予防や健康づくりに取り組むとともに、見守り・支え合いの地域づくりをすすめていく必要があります。
 ・特定健診の問診結果では、飲酒頻度(毎日)とメタボの項目で市と比較してやや高いものの、その他の項目では市と比較して低く、けん診受診率については、肺がん検診以外は市と比較して高いことから、けん診を受診したり、よい生活習慣をもつ人が比較的多いようです。引き続き、生活習慣を振り返る機会をもちながら、自分にあった健康づくりに継続して取り組むことが必要です。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

・まちづくり協議会や地域の関係者、企業等との連携により、健康フェスタや地域サロン、JA等での健康啓発をすすめています。
 ・特に高齢化率が高いエリアにおいては、フレイル予防の啓発や、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指した取組等をすすめています。